

令和2年度指定管理運営業務評価票

施設名称：臨海スポーツセンター		指定管理者：ミズノ・南海ビルサービスグループ		指定期間：平成28年4月1日～令和3年3月31日		所管課：大阪府教育庁教育振興室保健体育課	
評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S～C		S～C		
I 提案の履行状況に関する項目	平等利用が確保されるよう適切な管理を行うための方策	(1) 施設の設置目的及び管理運営方針	①施設の設置目的に沿った運営	A	大阪府立臨海SC条例に記載のある設置目的に従って「府民の保健体育及びスポーツ並びに健全で文化的な集会用」に供し、安全・安心な場・機会・サービスの提供を実施している。弊社他の指定管理施設での事例なども活かし運営を行っている。（評価点：3点）	A	
			②提案した管理運営方針に沿った管理		各種教室（11種目）の運営、スケート・卓球・バドミントン大会の開催、スケートリンクの運営・イベントの実施を通じてスポーツの振興・人口拡大、地域の健康増進を実施している。（評価点：3点）		
			③社会貢献活動、環境活動、法令遵守の取組み		減免対象利用に関する案内と実施（H.P並びに事前打ち合わせ）、ゴミ削減減示によるごみ箱削減とその協力掲示、コンプライアンスを重視したスタッフ教育研修（9、11、12月）、個人情報保護などに努めている。（評価点：3点）		
	(2) 平等な利用を図るための具体的手法・効果	①公平なサービス提供、対応状況	A	誰でも参加できるプログラムの提供やホームページをわかりやすくするなどし公平なサービスの提供の機会を提供している。（評価点：3点）	A		
		②高齢者、障がい者等に対する配慮		高齢者には安価で参加しやすいアロマストレッチ教室や、共用卓球の設定、60才以上料金を設定したスケートの一般利用料金。障がい者等には、スケートの一般利用の無料化、フリー卓球の無料化の設定をしている。駐車場の減免実施をしている。（評価点：3点）			
	施設の効用を最大限発揮するための方策	(3) 利用者の増加を図るための具体的手法・効果	①利用者を増やしたにぎわいづくり方策の取組み	A	エンタランススペースにおける車椅子の設置、高齢者・障がい者の方が一般の方が気軽に休憩できる椅子・テーブルの配置によるくつろぎスペースの確保、クリスマス、七夕等季節感のある館内掲示物・トップアスリートポスターの更新と受付（ショップ）での窓口対応。LINEを活用し、イベント毎に来館促進できる情報の提供をしている。今年度はコロナウイルス対策予防している施設をアピールできるよう毎時間消毒等対応【感染防止宣言ステッカー・コロナ追跡システム導入】実施し、安全・安心な環境作りを継続している。（評価点：3点）	A	
②年間の広告・広報計画等の情報発信の取組み 〔指標〕利用者数 令和元年度実績：167,827人 令和2年度目標：140,000人 （4・5月休館含む） 9月末現在実績：40,128人			ホームページのリニューアル、LINEによるSNSの活用で定期的に情報を配信している。今年度はコロナウイルスの影響で、スケートリンクは300名の利用制限を設けている。今後はコロナ禍の中でも利用促進をする為、高石市に後援申請を提出し、定期的な広報誌への記事掲載、高石市内全小中学校へチラシを配布を実施。近隣の大阪府管理施設へチラシ・ポスターの依頼をして相互利用できる環境作りを実施。近隣商店へ置きチラシの依頼実施。南海電鉄駅構内ポスター貼り実施。夏季はうちわの作成をして配布実施。（評価点：3点）				
(4) サービスの向上を図るための具体的手法・効果		①提案のあったサービス向上策の取組み	A	早朝・深夜時間帯での開所時間の延長と休日開所への対応を行い、イベント等に関しては利用者要望に柔軟に対応している。体育館の空き枠の有効活用として卓球・バドミントンの共用利用実施。コロナ禍の中では利用者促進策のスケートワンコインデーは今年度見送る。スケート短期教室を利用人数の制限を設け、枠を増やし実施。特に今年度は親子で来ていただく内容を強化している。（評価点：3点）	A		
②自主事業の取組み	卓球大会・バドミントン大会・フィギュアスケート大会など日頃の教室の成果を発揮する場として大会を実施。高齢者が参加しやすい安価設定のアロマストレッチを実施。気軽に体験しやすいよう無料体験の実施。教室参加者には、付加価値として振替制度の設定。今年度よりフットサルスクール枠を2枠増やし小学生の健康作りを強化する。（評価点：3点）						
③施設設備、機能の活用	旧食堂スペースは、スケート利用者の待機場所、休憩室として有効活用している。スケートリンクにある売店スペースを冬季期間は軽食の販売を行い利用者へ提供している。（評価点：3点）	利用者のニーズに合わせて、早朝、深夜時間帯での開所時間延長や休所日の開所など柔軟に対応している。また、コロナ禍で密にならないよう人数制限を行いながら、実施回数を増やすなど工夫している。（評価点：3点）					
					各種教室が充実しており、運動の得意な人や苦手な人、子どもからお年寄りまで幅広いニーズに応えられる内容となっている。また、卓球大会やバドミントン大会などを実施し、スポーツの場を積極的に提供している。（評価点：3点）		
					館内のスペースを有効に活用し、利用者の利便性を高めている。（評価点：3点）		

評価項目	評価基準（内容）	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言		
			S～C		S～C			
I 提案の履行状況に関する項目	(5) 施設の維持管理の内容、適格性及び表現の程度	①施設設備の効果的な維持管理	ライフサイクルコスト低減に向けた施設点検表、修繕箇所をランク付けした資料に基づき修繕並びに点検を実施している。本年度は修繕箇所として、コロナ休館中に雨漏りで劣化が酷かった第一位体育室の壁補修、エントランス部分の天井補修を実施。スケートリンク整備のザンボニーの小まめな整備を実施。維持業務を委託している南海ビルサービスと週一回ミーティングを行い情報交換を密に取っている。危険はあるが屋上部分の腐食が酷く雨漏りの影響が出ているので、スタッフが屋上に上がりシートを貼り補修を日々繰り返している。（評価点：3点）	A	緊急度に応じた優先順位を付けた一覧表を作成し、順次修繕を行っている。また、コロナに伴う休館を利用して、第一体育館の壁などの補修も積極的に実施している。（評価点：3点）	A	施設の維持管理等で危険を伴う作業については、安全確保を徹底し、十分に安全か確認をすることが必要。	
		②施設設備の安全管理	点検チェックシートによる専門スタッフを配置し速やかな設備状況の点検と安全確認を行っている。年間で5日程度体育館の点検日を設けて、セルフチェックを行い施設・備品点検の実施。スケート定休日にはリンク整備を揉捻に実施。（評価点：3点）		施設を安全に利用するため、点検チェックシートを作成し、定期的に点検を実施している。（評価点：3点）			
		③緊急時の危機管理体制	緊急時体制表は、事務所の見やすい場所に掲示し誰でもすぐに確認できるよう掲示している。（評価点：3点）		危機管理マニュアルを整備するとともに、スタッフに対する教育を実施している。（評価点：3点）			
	(6) 収入確保策の実施	①広告収入等の収入確保策の取組み	ネーミングライツパートナー企業は営業・情報収集を行うも現在のところ参加企業はない。（評価点：2点）	B	広告収入を獲得するのは難しい状況である。国際的な大会が開催される施設ではないため、メディアへの露出が少ないのが一因と考えられる。継続して営業、情報収集を行ってもらい、広告収入獲得へつなげていくことを期待する。（評価点：2点）	B		
		②提案どおり実施されているか。	イベントにおける広告収入については現在継続模索しているところである。各自主事業については、利用者満足度、継続率アップに向けてのキャンペーンを実施している。臨海SCでの通年利用できるスケートリンクの存在がまだ近隣市民には浸透できていない。高石市、和泉市、堺市への小中学校へのチラシ配布、広報掲載など実施をしている。（評価点：3点）		提案どおりの取り組みは行っているが、コロナの影響があるもの利用者拡大につながるよう実施していただきたい。（評価点：2点）			
	I 提案の履行状況に関する項目	その他管理に際して必要な事項	(7) 府施策との整合	①府、公益事業協力等の取組み	A	府や公益事業の取り組みに協力いただいている。（消防との連携や府依頼のポスター掲示など）（評価点：3点）	A	
②行政の福祉化の取組み				行政の福祉課は提案どおり実施されている。清掃員として受け入れている。（評価点：3点）				
③市民・NPOとの協働の取組み				高石市水道局への協力として「マンホールカード」の配布施設として登録し多くの方に来館頂いている。高石市健幸まちづくり協議会に参加をして、市民へスポーツを通じての健康促進を提供できるようイベント等に参加をしている。高石市側より今年度は臨海SCと協力し合って運営をしたいと、健幸づくり課、総合政策課、社会教育課からアプローチがある。利用者増加の為、コラボできるイベントは積極的に取り組んでいる。今年度は10月に実施される高石市REBOOT2020に協力出店をする。（評価点：3点）		地元高石市と協働し、施設を訪れる人を増やす取り組みをしている。（マンホールカード配布、高石市主催イベントへの参加協力など）（評価点：3点）		
④環境問題への取組み				環境問題への教育と資料の購読はもちろんのこと、事務用品においてはリサイクルを心掛け、水光熱費削減に向けて昨年度8月より新電力に変更し経費削減を実施。館内には節電・節水に関する掲示を行うとともに、ゴミ箱を半減し利用者協力への掲示を実施。施設内不要物の廃棄申請並びに5S活動を実施。（評価点：3点）		リサイクルや節電・節水を心掛け、高い意識をもって環境問題に取り組んでいる。（評価点：3点）		
I 総括		7項目（28点満点）	A	7項目（28点満点）	A			

評価項目	評価基準 (内容)	指定管理者の自己評価	評価	施設所管課の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			S~C		S~C		
II さらなるサービスの向上に関する事項	(1)利用者満足度調査等	①利用者満足度調査等の実施状況	A	ネットを利用したアンケート（ポスター掲示のQRコード読み取り）を導入し、幅広く意見を聴取することができている。（評価点：3点）	A		
		②調査結果のフィードバック（PDCA）		調査結果を踏まえ、各種修繕に努めている。（例：雨漏り補修、第一体育館壁補修など）古い施設ではあるが、清潔感や明るさを保てるように日々の清掃や館内展示の工夫を行っている。（評価点：3点）			
	(2)自主事業	①さらなるサービス向上の取組み 【指標1】自主事業参加者数 【指標1】自主事業参加者数 R1実績：20,696人、上半期実績：10,496人 R2目標：17,000人、上半期実績：7,596人 【指標2】自主事業収入状況 R1実績：45,857千円、上半期実績：22,972千円 R2目標：40,610千円、上半期実績：7,125千円	スケート教室参加者増加として、短期教室の受け入れ枠を親子で参加や大人限定の枠を設けて子供の増加と大人の参加がしやすい環境を作る。テニスの参加者を増加させるため初心者クラスを増設、親子参加型のイベントを定期的に行い興味を持ってもらう。高齢者が参加しやすい卓球教室、バドミントン教室の体験会を実施し、初心者からでも安心して参加していただく。小学生をターゲットとしてフットサルスクールを増設。クラス内容もステップアップクラスを用意し、初心者から上級者までフォローできるようにカリキュラムを整備。コロナ禍の中で安心して来館していただけるよう消毒の徹底、教室内容を各スポーツの指針に沿って作製、来館時には検温モニターで検温実施など工夫を実施。（評価点：3点）	A	新型コロナ感染拡大防止対策に伴う休館要請により4月、5月と休館をしていたが、6月以降に利用者拡大に向けた自主事業（スケート教室の参加枠の拡大、バドミントン教室の体験会、フットサルスクールの増設）を実施している。また、参加者が安心して利用できるよう各スポーツの指針に沿った感染対策を行っている。（評価点：3点）	A	
	(3)その他創意工夫	①その他創意工夫の取組み	老朽化による施設ではあるが、定期的な掲示物の張替などによる新しさを創出、各プログラム内容については、季節感のあるキャンペーンを実施。卓球、テニス、バドミントン、バスケットボール備品の入れ替えをして利用者が使用しやすいようにしている。コロナ対応として消毒設置、検温モニターの活用をして安全・安心を実施。（評価点：3点）	A	季節に応じて掲示物の工夫や休憩スペースを設置するなど、お客様目線でのサービスを行っている。また、安心・安全に利用できるようコロナ対策（消毒液や検温モニターの設置）も徹底している。（評価点：3点）	A	
II 総括		3項目（12点満点）	A	3項目（12点満点）	A		
III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する事項	(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度	①事業収支計画、事業収支実績状況 【指標】R2収支計算書（プロポーザル） 収入：189,273千円、見込み：150,000千円 支出：214,236千円、見込み：190,000千円 納付金：1,300千円、見込み：1,300千円	①事業収支及び見込み 《令和2年度：対プロポーザル比》 収入：79% 支出：89% 納付金：100%（評価点：3点）	A	コロナ感染拡大防止による休館の実施もあり収入については、提案額を下回る見込みである。コロナ対策を実施しながらではあるが、利用者確保に取り組んでいただきたい。（評価点：3点）	A	
	(2)安定的な運営が可能となる人的能力	①職員体制・配置	提案した内容のとおり適切な職員体制・配置を実施している。（評価点：3点）	A	「管理体制計画書」のとおり職員配置を行い、十分な管理運営可能な職員体制となっている。（評価点：3点）	A	
		②管理監督体制・責任体制	これまでの指定管理者としての実績や他施設での豊富な経験及びノウハウを生かし、作成した運営管理マニュアルに則り管理監督及び責任者体制を構築し運営している。グループ企業の密なるミーティングはもちろんのこと、業務委託先とのミーティング回数も増やし、安全・安心に利用できる運営体制を構築している。（評価点：3点）		各グループ員はそれぞれ本社との連携体制を整えているとともに、グループ員同士での定期連絡会を開催し、情報共有を行っている。また、館長を筆頭に指揮命令系統が明確になっており、良好な管理体制を構築している。（評価点：3点）		
		③指導育成、研修体制	月1回の各施設担当者による全体の定例会を実施し運営についての課題・改善などについて討議を行っている。ミズノグループスタッフについては、朝礼による課題・引継ぎ事項等の確認、本社教育資料の配布、全体研修、リーダー研修等を通じて接客・接遇のレベルアップによる運営向上をはかっている。ミズノ・南海ビルサービスグループとして、昨年度同様毎週ミーティングを実施し、運営の報告・連絡・相談を密に行っている。スケートリンク管理として、南海ビルサービスと業務委託先である関西スケート振興会は月一回定例会を今年度より実施し、安全なスケートリンク運営に努めている。（評価点：3点）		ミズノ、南海ビルサービスともに職員に対する多様な研修を実施し、資質向上に努めている。また、業務委託先とも定例会を実施し、安全な運営に努めている。（評価点：3点）		
(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	①法人等事業者の経営規模、事業規模、組織規模等の運営基盤 ②法人等事業者の財務状況	ミズノグループ・南海ビルサービスグループともに経営・事業・組織規模等の運営基盤は良好（評価点：3点） 2019年度代表企業ミズノ（株）実績 売上高169,700百万円 営業利益6,300百万円 経常利益6,100百万円 純利益4,600百万円 ROA44.2% ROE4.7% 自己資本比率64.1%（評価点：3点）	A	各グループともに運営基盤は安定している。（評価点：3点） 左記のとおり健全な財務状況である。（評価点：3点）	A		
III 総括		3項目（12点満点）	A	3項目（12点満点）	A		